

連続講座「天台本覚思想史」第3回 開催のお知らせ

（講師からのコメント）

天台本覚思想の歴史的展開について、ひとつの見通しを示されたのは田村芳朗氏である。田村氏は、日本思想大系『天台本覚論』の「解説」の中で、天台本覚思想の絶対一元論の起源を煩惱即菩提・生死即涅槃・凡聖不二・生仏不二の不二相即論に求め、「基本的相即論（空的相即論）」→「内在的相即論」→「顕現的相即論」→「顕在的相即論」と進展していた、と論じられている。

しかし、「本覚」の思想が最初に論じられるのは『大乘起信論』であるから、それは不二相即論ではなく、本有の覚照を説く如来蔵思想である。如来蔵思想は如来の内在論（仏性・本覚）であって空の相即論ではないから、内在と相即の語を結びつけることは妥当ではない。また田村氏は、顕現的相即論を「理顕本」と言い、顕在的相即論を「事常住」と言われているが、理顕本は必ず事常住であるから、この二つの語を思想の発展段階を示す用語として用いることも間違いである。『大乘起信論』に説かれる「本覚」の思想と、天台教学で説かれる煩惱即菩提の円教思想が、交錯しながら天台本覚思想が進展していく様相について説明する。

【 記 】

日 時：平成27年 12月17日（木）午後6時30分より 8時30分終了

※御注意！ 12月より午後6時30分開始となります。

会 場：新宿 常円寺 祖師堂 地階ホール

講 題：本覚思想の歴史的展開

講 師：花野 充道 先生 （法華仏教研究会 主宰）

聴講料：千円

（今後の「天台本覚思想史」の講義予定）

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| ○第4回講義 「本覚思想と基体説」 | 平成28年 1月21日（木）午後6時半～8時半 |
| ○第5回講義 「天台本覚思想文献の時代設定」..... | 2月18日（木）午後6時半～8時半 |
| ○第6回講義 「四重興廃思想と日蓮教学」..... | 3月17日（木）午後6時半～8時半 |

お申込みは 下記の項目に明記して FAX番号 042-627-7227 へ！

参加者氏名： _____ 歳 _____ 男・女
住 所： 〒 _____ 電話： _____
携帯： _____ メール： _____